

キャンプ砂防 in 黒部川

～地域観光・利用者を守り、流域の安心・安全に寄与して66年～

【テーマ】

全国でも有数のV字谷である“黒部峡谷”に触れ、目を見張る自然美やトロッコ電車から黒部川の清流を体感、露天風呂・足湯を見学。黒部川の奥地で行っている“砂防”を学び、地域との共存・発展、流域の安心・安全を学ぶ。

【黒部川流域の概要】

富山県に位置する黒部川流域は、富山県と長野県の県境の鷲羽岳を水源に3,000m級の山々が連なる北アルプスの立山連峰と後立山連峰の間に渓谷を刻み北流し、日本海に注ぐ一級河川です。



- 水 源：鷲羽岳（標高2,924m）
- 流域面積：682km²
（愛本上流域：484km²）
- 流路延長：85km（河口～水源）
- 関係市町：2市3町[富山県]
黒部市、富山市
入善町、朝日町、
立山町
- 流域内人口：約2千人
- 年降水量：約4,000mm

（仙人谷観測所 国土交通省
昭和29年[1944]～平成22年[2010]）

【黒部川における砂防事業】

砂防事業を昭和36年度から開始し66年、幾度となく洪水氾濫や土石流による災害が発生していますが、地域の観光や流域の安心・安全のため事業を推進しています。



黒薙川第4号砂防堰堤



祖母谷第2号下流砂防堰堤



小黒部谷第1号砂防堰堤

【流域の観光資源】

黒部峡谷の雄大な自然、宇奈月温泉や黒薙温泉等の温泉施設、黒部峡谷鉄道のトロッコ電車などを求めて、国内外から年間約70万人（令和元年）の観光客が訪れています。（R7は猫又駅まで運行）



年間約33万人（令和元年）が
利用する黒部峡谷鉄道のトロッコ電車



黒薙温泉



黒部市宇奈月町
宇奈月温泉街